

一般財団法人 宇治市福祉サービス公社

平成 28 年度

事業報告書

目次

I 事業計画の総括（事業方針と重点項目）

| | |
|----------|---|
| 総括 | 1 |
| 重点項目実施状況 | 2 |
| 新規事業実施報告 | 5 |

II 理事会・評議員会等開催状況

| | |
|--------------|---|
| (1) 理事会開催状況 | 6 |
| (2) 評議員会開催状況 | 8 |

III 役員・評議員等名簿

IV 事業実績

| | |
|---------------|----|
| (1) 公社独自事業 | 10 |
| (2) 介護保険事業 | 17 |
| (3) 障害者総合支援事業 | 21 |
| (4) 宇治市受託事業 | 23 |

V 20周年事業報告

37

I 事業計画の総括（事業方針と重点項目）

総括

平成 28 年度は、公社設立 20 年の節目を迎えるにあたり、公社設立趣意書に掲げた設立の目的・方針が、20 年経過した現在においても、直面している地域・福祉の多様化する課題の解決に向けた方策と合致することを再確認し、改めて原点に立ち返る中でそれぞれの事業に鋭意取り組んだ。

公社主要事業である「公社独自事業」、「介護保険事業」、「障害者総合支援事業」、「市受託事業」の 4 本柱の事業をそれぞれの確に遂行するとともに、この間基軸を置いてきた「地域密着型経営」の観点から 4 つの事業所を拠点に地域特性等を活かした取り組みを定着させることにより、地域団体や地域住民との連携も深まってきている。

その中で、一般財団法人移行後の公益目的事業の一環として、平成 25 年度から取り組んでいる地域力助成事業において、過去 3 年間にわたり支援を行った団体に呼びかけをし、公社が行う地域密着型事業と助成団体が行う事業との連携、及び助成団体同士のネットワークづくり等を目的に、「地域力再生ワークショップ」を開催し、地域包括ケアシステムの構築に向けての「共同・協働」を視野に入れた下地づくりを行った。

そして、同じく平成 25 年度から宇治市の委託を受けて取り組んでいる「宇治市初期認知症総合相談支援事業」についても、「れもんカフェ」と「初期集中支援チーム」を両軸とした取り組みの他に、認知症当事者の活動支援や、地域ぐるみでサポートする仕組みづくりとしての「認知症アクションアライアンス」等の事業にも取り組み、国内外からもその成果が注目されている。

また、平成 29 年度から総合事業がスタートすることにより、高齢者や地域住民が主体となった地域での支え合い活動の創出に向けた取り組みが不可欠となることから、この地域福祉の大きな変革をスムーズに迎えるため、公社と宇治市社会福祉協議会との合同で「未来（あす）の地域（うじ）の福祉を考える合同プロジェクト」を立ち上げ、宇治市域の地域課題を明らかにするとともに、両者の役割や今後の連携の在り方を再確認し、課題解決に向けた共同事業の取り組みを行った。

一方、公社事業を担う人材確保については、近年ますます厳しさを増しており、当初予定していた職員増員や体制強化までは達成できず、欠員の補充に追われる状況となった。このような厳しい状況の中ではあったが、処遇改善加算の取得による介護職員の処遇改善をはじめ、加算対象とならない職員に対しても公社一般財源を投入して最大限の処遇改善を図るとともに、「きょうと福祉人材育成認証事業所」並びに「ワーク・ライフ・バランス認証事業所」として相応しい働き甲斐・働きやすさが両立する職場環境づくりに努めた。

これらを含めて、収支面においては、単年度の事業活動収支の部で均衡を保つことができたが、当期の正味財産の増減については、4 年目となる公益目的支出計画を円滑に実施したこともあり、想定範囲内の減少となった。

今日の社会情勢を取り巻く状況としては大きな転換期の中にあるが、宇治市や宇治市社会福祉協議会をはじめとする関係機関・諸団体との連携のもと、宇治市域における在宅保健・福祉サービスの充実・向上に努めるため、引き続き公社がパイオニア的役割を積極的に果たしていく所存である。

重点項目実施状況

平成 28 年度の重点項目については以下の通り取り組んだ。

(1) 会社の独自性を発揮した公共的・有効的な事業運営を推進する。

① 会社設立 20 周年事業の推進（詳細は P37～P42 20 周年事業報告を参照）

平成 29 年 3 月 25 日をもって設立 20 周年を迎えるにあたり、本年度 1 年間で 20 周年事業の年と位置づけ、多岐にわたる事業を展開した。

その一環として会社と宇治市社会福祉協議会の職員で構成する合同プロジェクト「ぽっぽとうじピヨンの未来（あす）の地域（うじ）の福祉を考える合同プロジェクト」を立ち上げ、1 年間を通して学習会や検討会議、先進地視察等を重ね、今後へとつながるモデル事業を創設し、一部実施することができた。

② 地域密着型に基軸を置いた公益目的事業の推進

「地域密着型経営」を掲げて各々の事業所の地域特性に基づいた取り組みを継続して行った。特にコミュニティカフェや地域福祉のつどいの開催では、各々の管理運営団体、地元学区福祉委員会等の参加・協力や地元小学校や支援学校との連携も図る等、世代を超えた取り組みへと発展してきている。

また、公益目的事業として 4 年目を迎え、地域力助成事業で助成を行った 9 つの団体を対象に、初めての取り組みとなる地域力再生ワークショップを計 2 回開催することができた。これにより会社と助成団体との共同・共働の仕組みづくりの足掛かりをつくることができたと共に、助成団体相互の交流や連携のきっかけづくりになった。

③ 「認知症の人にやさしいまち・うじ」の実現に向けた取り組みの推進

平成 25 年度より宇治市の委託を受けて取り組んできた、「宇治市初期認知症総合相談支援事業」では認知症対応型カフェである「れもんカフェ」と、初期からの相談機能である「認知症初期集中支援チーム」を事業の両軸として取り組み、全国的にも評価の高い事業を推進してきた。これらの成果を踏まえて平成 28 年 3 月 21 日に始動した全国でも初の試みとなる「宇治市認知症アクションアライアンス “れもねいど”」の事務局機能を本年度より新たに委託を受け取り組んだ。

これまでの医療・保健・福祉の専門機関だけでなく、民間企業や市内の大学との連携による「認知症の人にやさしいまち・うじ」実現に向けた取り組みは、これまでにない試みであったが、一定の成果を果たすことができた。

また、会社としても「れもねいど」に加盟し、社内のサポーター養成研修の実施等、認知症の人にやさしい企業としての取り組みも行った。

(2) 多種・多様化する地域ニーズを視野に入れた柔軟且つ効率的な事業所運営を推進する。

① 利用者・市民等の地域ニーズへの的確に対応する事業の推進

平成 29 年度からの総合事業への移行を踏まえて、宇治市受託事業として取り組んだ宇治市生活支援体制整備事業の中で、自治会主体の支え合い活動への情報提供や助言の他、健康長寿サポーター、宇治市生活支援員（通称 39 支援員）等新たな担い手の養成と、こうした方々との地域におけるニーズや課題等について意見交換の場を設ける等の取り組みを行った。

また、公社独自の取り組みとして地域のサロンや介護予防教室からの講師派遣の要請に積極的に応える等、地域住民との関わりの機会を図った。

② 地域包括ケアシステムの構築に寄与する事業開拓の推進

公社の設立の精神は一貫して宇治市の福祉を向上させることであり、今日的なテーマである地域包括ケアシステムの実現は、現在の公社が取り組んでいかなければならない課題であることを再確認した。

この大きなテーマに向かって取り組んでいくためには、地域包括ケアシステムの拠点として地域福祉センターの活用が重要であり、こうしたことを踏まえて宇治市から指定管理を受けている地域福祉センターに、地域の介護予防拠点、地域支援サービス拠点としての新たな機能を持たせられるよう、サービスメニューの提案等を試みたが十分な議論までに至らなかった。

(3) 働き甲斐・働きやすさが両立する職場環境づくりを推進する。

平成 26 年度に「きょうと福祉人材育成認証事業所」として、昨年度には「ワーク・ライフ・バランス認証事業所」としての認証を得て、名実ともに働きやすい職場環境のある事業者として認められた。そして今年度は 11 月 22 日の京都府子育て支援表彰において、職場環境づくり部門での表彰を受け、職員の職場生活と家庭生活の両立を図るための職場環境づくりに積極的に取り組んでいることに評価をいただいた。今年度の育休取得中の職員 3 名についても新年度に職場復帰することになっている。

平成 27 年 12 月より新たに義務付けられた職員に対する「ストレスチェック」については、産業医の指導、協力を得る中で実施し、高ストレス状態と判定された職員が若干名いたが、その後の相談までにはつながらなかった。公社としては働きやすい職場環境づくりの実現に向けて制定している「グランドルール 3 つの化」の励行や、ストレス解消に向けた社内事業、行事等についても衛生委員会や福利厚生委員会等と連携の上でスポーツ交流会やボーリング大会等に取り組んだ。

また、平成 25 年度に策定した「人材育成計画」についても、平成 30 年度までの第 2 期人材育成計画として更新し、引き続き計画的に取り組imi一定の成果をあげた。

更に、処遇改善面についても国の介護保険制度、障害者総合支援法における処遇改善加算を効果的に活用し、引き続き給与面での処遇改善にも努めた。

なお、今年度も各事業所の係ごとに研究テーマを設定した社内研究発表会を開催し、それぞれの業務の「見える化」に取り組んだ。

*社内研究発表会一覧

西小倉事業所 平成 28 年 12 月 22 日（木）開催

| | |
|-------------|--|
| 地域包括支援センター係 | 「地域包括支援センターと高齢者虐待」 |
| ケアマネジメント係 | 「認知症で徘徊がある独居の女性の支援について、地域アプローチの視点を持ったケアマネジメントの考察」～認知症の人にやさしいまちうじの実現に向けて～ |
| ヘルプサービス係 | 「システム活用による業務改善」～利用者と職員の笑顔のために～ |
| デイサービス係 | 「お客様の疑似体験から学ぶ」～続・お客様目線のサービス提供を目指して |

東宇治事業所 平成 29 年 1 月 20 日（金）開催

| | |
|-------------|--|
| 地域包括支援センター係 | 「地域と顔の見える関係づくりを目指して」 |
| ケアマネジメント係 | 「事業所アンケート結果から見えてくるもの」 |
| ヘルプサービス係 | 「ヘルプ独自のアンケートを実施して～訪問介護員の現状～」 |
| デイサービス係 | 「認知症あなたらしさを最後まで～共に生き、共に探し、共に笑い、共に感じ、共に選び、共に迷い、共に気づき、共に願い、そんな日々を描きながら～」 |

広野事業所 平成 29 年 1 月 24 日（火）開催

| | |
|-----------|--------------------------|
| ケアマネジメント係 | 「住み慣れた地域で暮らし続けていくために」 |
| ヘルプサービス係 | 「これは身体拘束??？」 |
| デイサービス係 | 「みんなの笑顔を伝えたい～広野デイから発信中～」 |

中宇治事業所 平成 29 年 1 月 31 日（火）開催

| | |
|---------------|--|
| 総務係 | 「ハッピーワーク！～公社で働きがいを持ち・安心して長く働いてもらうために～」 |
| 地域包括支援センター係 | 「地域包括支援センターから見たボランティア活動と工夫」 |
| 介護予防サポートセンター係 | 「介護予防サポートセンター20年を振り返って」 |
| 福祉情報センター係 | 「歌笑会事業について～データでみる動向と傾向～」 |
| 障害者相談支援センター係 | 「障害者相談支援センターの現状」 |
| ケアマネジメント係 | 「居宅ケースの最近の問題について考えてみた！！」 |

新規事業実施報告

1. 公社独自事業

①「ぽっぽとうじピヨンの未来（あす）の地域（うじ）の福祉を考える合同プロジェクト」の開催

宇治市社会福祉協議会と共に、宇治市域の地域課題を明らかにし、公社、社協とが連携してこれらの課題解決に向けて双方の役割分担と協働の在り方を検証するプロジェクトチームを設立し、これに取り組んだ。（詳細は P39～P42 参照）

②地域力再生ワークショップの開催

過去 3 年間にわたり「地域力助成事業」で支援を行った団体に呼びかけ、地域力の再生を目指して公社との連携や共同による地域サポート事業の可能性を探るための会議を 2 回開催した。

2. 介護保険法に基づく事業

① 中宇治居宅介護支援事業の増員

中宇治事業所の居宅介護支援事業所について、今後ますます増加する介護保険利用ニーズに対応するために、職員体制の拡充を図り、特定事業所加算の取得を目指したが、人材確保に苦戦し年度内での増員を図ることができなかった。

3. 障害者総合支援法に基づく事業

① 障害者相談支援センターの体制強化

在宅で何らかの障害福祉サービスを利用されておられる全ての障害者に対して、相談支援専門員を配置しなければならないことから、年度当初に 2 名の相談員を増員したが、年度途中で 1 名が退職したことにより、十分な体制強化に至らなかった。

② 障害者就労支援事業の研究

若年性認知症の方を主に対象として、就労支援の相談や支援に答えられるよう、就労支援事業についての調査・研究を計画したが、相談員の年度途中の退職等により体制がとれず、これに取り組むことができなかった。

4. 宇治市受託事業

① 宇治市認知症アクションアライアンス“れもねいど”の事務局業務

昨年度に設立された「宇治市認知症アクションアライアンス“れもねいど”」の事務局の業務を受託し、認知症当事者・家族、市内医療・福祉関係団体の代表者らによる推進協議会を年 4 回開催したほか、第 3 回となる「認知症フォーラム in うじ」を開催した。（詳細は P29～P32 を参照）

② 地域支援事業に関するモデル事業の策定

昨年度から委託を受けた生活支援体制整備事業の一環として、地域住民主体による支え合いの仕組みづくりや、基準緩和型サービスのマンパワー養成事業に取り組んだ。（詳細は P34～P35 を参照）

Ⅱ 理事会・評議員会等開催状況

(1) 理事会開催状況

第24回 理事会 [平成28年5月26日開催]

| | |
|-------|--|
| 議案第1号 | 「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 平成27年度事業報告書(案)」について |
| 議案第2号 | 「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 平成27年度決算報告書(案)」について |
| 議案第3号 | 「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 平成27年度公益目的支出計画実施報告書(案)」について |
| 議案第4号 | 「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 情報公開規程等」の一部改正について |
| 議案第5号 | 「第9回評議員会の招集」について |
| 報告第1号 | 「理事長等執務報告」について |
| 報告第2号 | 「平成28年度地域力助成事業」について |
| 報告第3号 | 「平成27年度事故・苦情・サンクスレポート」について |
| 報告第4号 | 「平成28年度夏季賞与、特別賞与の支給」について |

第25回 理事会 [平成28年6月28日開催] (みなし理事会)

| | |
|-------|------------------------------|
| 議案第6号 | 「専務理事の選定」について |
| 議案第7号 | 「平成28年度地域力助成事業(助成団体)の採択」について |
| 議案第8号 | 「第10回評議員会の開催」について |

第26回 理事会 [平成28年8月3日開催]

| | |
|-------|-------------------------|
| 報告第5号 | 「理事長等執務報告」について |
| 報告第6号 | 「平成28年度第1四半期収支実績」について |
| 報告第7号 | 「宇治市出資法人自己評価報告書の提出」について |
| 報告第8号 | 「地域力再生ワークショップ」について |

第27回 理事会 [平成28年9月23日開催] (みなし理事会)

| | |
|-------|---|
| 議案第9号 | 「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 パートタイマー等規程」の一部改正について |
|-------|---|

第28回 理事会 [平成28年11月17日開催]

| | |
|----------|---|
| 議案第 10 号 | 「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 会計処理規則」の一部改正について |
| 報告第 9 号 | 「理事長等執務報告」について |
| 報告第 10 号 | 「平成 28 年度上半期収支実績報告」について |
| 報告第 11 号 | 「宇治市福祉サービス公社第 2 期人材育成計画（平成 28 年度～平成 30 年度）」について |
| 報告第 12 号 | 「平成 28 年度冬季賞与、特別賞与の支給」について |
| 報告第 13 号 | 「第 10 回京都府子育て支援表彰の受賞」について |
| 報告第 14 号 | 「平成 28 年度上半期事故・苦情・サンクスレポート」について |
| 報告第 15 号 | 「育児・介護休業等に関する規則の改正概要」について |
| 報告第 16 号 | 「平成 28 年 9 月市議会全員協議会報告における主な質疑応答概要」について |
| 報告第 17 号 | 「ぽっぽとうじピヨンの未来の宇治の福祉を考えるプロジェクト」中間報告について |

第29回 理事会 [平成29年1月26日開催]

| | |
|----------|--|
| 議案第 11 号 | 「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 育児・介護休業規程」の一部改正について |
| 報告第 18 号 | 「理事長等執務報告」について |
| 報告第 19 号 | 「平成 28 年度第 3 四半期の収支実績」について |
| 報告第 20 号 | 「平成 29 年度事業計画（案）の概要」について |

第30回 理事会 [平成29年3月2日開催] (みなし理事会)

| | |
|----------|-------------------|
| 議案第 12 号 | 第 11 回評議員会の開催について |
|----------|-------------------|

第31回 理事会 [平成29年3月23日開催]

| | |
|----------|--|
| 議案第 13 号 | 「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 定款」の一部改正について |
| 議案第 14 号 | 「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 平成 29 年度事業計画書（案）」について |
| 議案第 15 号 | 「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 平成 29 年度収支予算書（案）」について |
| 議案第 16 号 | 「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 支援員等の雇用に関する規程」の制定について |
| 議案第 17 号 | 「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 職員就業規則」の一部改正について |
| 議案第 18 号 | 「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 パートタイマー等規程」の一部改正について |
| 議案第 19 号 | 「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 職員給与規程」の一部改正について |
| 議案第 20 号 | 「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 専務理事に関する規則」の制定について |
| 議案第 21 号 | 「評議員会の決議の処理、決議事項」について |
| 報告第 21 号 | 「理事長等執務報告」について |
| 報告第 22 号 | 「平成 28 年度収支決算見込み」について |
| 報告第 23 号 | 「平成 29 年度地域力助成事業の実施」について |
| 報告第 24 号 | 「平成 29 年度の職員体制」について |

(2) 評議員会開催状況

第9回 定時評議員会 [平成28年6月14日開催]

| | |
|---------|---|
| 議案第 1 号 | 「理事の選任」について |
| 議案第 2 号 | 「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 平成 27 年度決算報告書 (案)」について |
| 報告第 1 号 | 「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 平成 27 年度事業報告書」について |
| 報告第 2 号 | 「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 平成 27 年度公益目的支出計画実施報告書」について |
| 報告第 3 号 | 「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 平成 28 年度事業計画書及び収支予算書」について |
| 報告第 4 号 | 「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 情報公開規程等」の一部改正について |
| 報告第 5 号 | 「理事長等執務報告」について |
| 報告第 6 号 | 「平成 28 年度地域力助成事業」について |
| 報告第 7 号 | 「平成 27 年度事故・苦情・サンクスレポート」について |
| 報告第 8 号 | 「平成 28 年度夏季賞与、特別賞与の支給」について |

第10回 評議員会 [平成28年8月3日開催]

| | |
|----------|---------------------------|
| 報告第 9 号 | 「理事長等執務報告」について |
| 報告第 10 号 | 「平成 28 年度第 1 四半期収支実績」について |
| 報告第 11 号 | 「宇治市出資法人自己評価報告書の提出」について |
| 報告第 12 号 | 「地域力再生ワークショップ」について |

第11回 評議員会 [平成29年3月23日開催]

| | |
|----------|--|
| 議案第 3 号 | 「一般財団法人宇治市福祉サービス公社定款の一部改正」について |
| 報告第 13 号 | 「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 平成 29 年度事業計画書(案)」について |
| 報告第 14 号 | 「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 平成 29 年度収支予算書(案)」について |
| 報告第 15 号 | 「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 支援員等の雇用に関する規程」の制定について |
| 報告第 16 号 | 「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 職員就業規則の一部改正」について |
| 報告第 17 号 | 「一般財団法人宇治市福祉サービス公社パートタイマー等規程」の一部改正について |
| 報告第 18 号 | 「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 職員給与規程」の一部改正について |
| 報告第 19 号 | 「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 専務理事に関する規則」の制定について |
| 報告第 20 号 | 「評議員会の決議の処理、決議事項」について |
| 報告第 21 号 | 「理事長等執務報告」について |
| 報告第 22 号 | 「平成 28 年度収支決算見込み」について |
| 報告第 23 号 | 「平成 29 年度地域力助成事業の実施」について |
| 報告第 24 号 | 「平成 29 年度の職員体制について」 |

Ⅲ 役員・評議員等名簿

(1) 役員名簿（平成 29 年 3 月 31 日現在）

| 役 職 | 氏 名 | 備 考 |
|-------|-------|---------------|
| 理 事 長 | 岡本 民夫 | 同志社大学名誉教授 |
| 副理事長 | 伊藤 義明 | 前宇治市社会福祉協議会会長 |
| 専務理事 | 五艘 雅孝 | 宇治市福祉サービス公社理事 |
| 理 事 | 塚原 理俊 | 有識者 |
| 理 事 | 有賀やよい | 医師 |
| 理 事 | 池田 正彦 | 宇治東福社会理事長 |
| 理 事 | 笹部 和男 | 弁護士 |
| 理 事 | 齊藤 剛 | 宇治市健康長寿部部长 |
| 理 事 | 山崎 彰 | 宇治市連合喜老会副会長 |
| 監 事 | 土肥 誠 | 宇治市会計管理者 |
| 監 事 | 服部 広志 | 京都銀行宇治支店長 |

(2) 評議員名簿（平成 29 年 3 月 31 日現在）

| 役 職 | 氏 名 | 備 考 |
|-------|-------|-----------------|
| 評 議 員 | 大西 幸江 | 宇治市女性の会連絡協議会役員 |
| 評 議 員 | 岡野 英一 | 龍谷大学特任教授 |
| 評 議 員 | 門阪 庄三 | 宇治久世医師会副会長 |
| 評 議 員 | 寺澤耕一郎 | 宇治市民生児童委員協議会理事 |
| 評 議 員 | 藤田 佳也 | 宇治市健康長寿部副部長 |
| 評 議 員 | 船川 菊枝 | 宇治市シルバー人材センター理事 |

(3) 第三者委員名簿（平成 29 年 3 月 31 日現在）

| 役 職 | 氏 名 | 備 考 |
|-----|-------|-----|
| 委 員 | 山口 勲 | |
| 委 員 | 山北千代子 | |

※介護保険事業・障害者総合支援事業の利用者等に対するの第三者的な相談・苦情窓口

公社独自事業

<定款第4条(1)> 在宅保健福祉サービスの調査研究、知識の普及啓発、相談等に関する事業

<定款第4条(2)> 自主的な在宅保健福祉サービスの提供に関する事業

<定款第4条(9)> 地域保健福祉に寄与する関係団体等に関する支援、助成事業



【ほほえみ介護塾の風景】



【ガーデニングボランティアによる地域美化活動】



【20周年記念で製作した“ぽっぽ”の着ぐるみ】

＜定款第4条(1)＞ 在宅保健福祉サービスの調査研究、知識の普及啓発、相談等に関する事業

公社会員の状況

《平成28年度会員数》 賛助会員（法人会員 35団体・個人会員 78名）

情報誌の発行

公社情報誌「ぽっぽ」（各3,000部発行）を公社会員や利用者、関係機関等に配布し、知識・情報の普及啓発を行った。

◆実績

第39号（平成28年7月発行）

「新入職員紹介」「実習受け入れ紹介」「お客様サービス満足度アンケート結果」他

第40号（平成29年1月発行）

「理事長年頭挨拶」「事業所通信」「ぽっぽ20周年記念クイズ」「地域包括支援センター紹介」
他

講師派遣

「ほほえみ介護塾」をはじめ、様々な講習会等に職員を派遣し、在宅保健福祉サービスについての知識の普及啓発を行った。

◆実績

| 派遣内容 | 派遣回数 |
|---------------------------|------|
| 介護塾講師 | 34 |
| サポートセンター出張講座講師派遣（地域団体、学校） | 33 |
| 認知症関連講演会等講師派遣 | 18 |
| 宇治市生活支援員（39支援員）養成講座 | 11 |

弁護士による相談事業

高齢者や障害者、その家族を対象に、弁護士による予約制（月1回）の法律相談を実施した。

◆実績

（実施日） 月1回（原則第4木曜日）午後2時～4時30分

（実施場所） 奇数月…西小倉地域福祉センター 偶数月…東宇治地域福祉センター

（延相談者数） 34名

（相談内容例） 相続…16件 / 遺言…3件 / 債務…2件

財産管理…2件 / 交通事故…1件 / 借地・借家…3件

情報の収集と提供

公社情報誌「ぽっぽ」、公社ホームページを活用して利用者・市民に向け、公社で実施する事業の情報提供を行った。

また、インターネット上における介護関係の情報収集に努め、各職員に周知を図るとともに、事業所ブログ（年間更新 221 回）や Facebook を活用して、公社の取り組みや最新情報の発信に努めた。

20 周年記念事業の一環として公社イメージキャラクターの「ぽっぽ」の着ぐるみを作成し、公社主催イベントを中心にお披露目し、公社の PR に活用した。

<定款第 4 条(2)> 自主的な在宅保健福祉サービスの提供に関する事業

家事援助サービス（自主サービス）

介護保険法では対応できない院内介助等の利用者ニーズに対して、自主サービスとして実施した。

◆実績

（単価）生活援助<350 円/15 分>・身体介護<450 円/15 分>

| | 西小倉 | 東宇治 | 広野 | 計 |
|------|-----|-----|-----|-----|
| 実人員 | 18 | 15 | 17 | 50 |
| 派遣回数 | 287 | 302 | 206 | 795 |

福祉人材研修事業

1) ほほえみ介護塾

今年度は 2 期の開講予定であったが、1 期については応募者が最少開催人数に満たず、止む無く休講とした。

◆実績

| | 第 2 期 |
|------|-------------------------|
| 実施時期 | 9 月 5 日（月）～12 月 19 日（月） |
| 受講者数 | 5 |
| 修了者数 | 5 |
| 入職者数 | 0 |

2) 介護技術習得・介護予防ボランティア養成サービス

介護予防事業「パワーリハビリ教室」「足しっかり体操教室」「あたまイキイキ教室」を支援するサポーターの育成や、既にサポーターとして活躍している方々の研修の場として、健康づくりのテーマと実施事業の紹介を行った。

◆実績

| 開催月日 | テーマ | 参加者数 |
|-------|---|------|
| 7月1日 | バランスアップでいきいきウォーキング! | 64 |
| 9月30日 | 介護予防日常生活支援事業って何? | 52 |
| 1月27日 | 誰でも出来る体操を見直そう!~取り組み方で効果倍増! | 47 |
| 3月30日 | アドバンスケアプランって何?~わたしの思いシートについて~ 宇治市の介護予防の方向性 | 66 |

3) 公社サービス利用者等リハビリサポート

リハビリ専門職が公社内外のデイサービスやケアマネジャーからの依頼を受けて、サービス利用者へ運動指導や住環境改善等のアドバイスを行った。今年度は、ケアマネジャーや包括職員からの住環境改善や運動指導の相談が多く、デイサービスからの依頼はなかった。以下の実績以外に、教室終了後等サポートセンターから包括支援センターへ引き継ぐケースが4件あった。又、公社内以外にも関係機関からの相談に5件対応した。

西小倉事業所デイサービスセンターの特殊浴槽の入れ替えに伴う、職員への腰痛予防対策研修の講師を行った。

◆実績

| | |
|------|----------|
| | 個別リハビリ指導 |
| 実施回数 | 6 |

財産保全・管理サービス

宇治市在住の概ね65歳以上の方で、身体の障害や、判断能力が不十分なために、日常生活を営むことが困難である公社利用会員を対象に、公社が契約した貸金庫にて、重要書類(有価証券、権利書等)を預かるサービスであるが、ここ数年は問い合わせも利用実績もなく、今後の事業見直しを検討中である。

輝き支援事業

平成 17 年度から平成 26 年度までの 10 年間に亘り、宇治市委託事業として取り組んできた「輝き支援 2015～高齢期支援システム創造事業～」の後継事業として、公社公益目的事業として実施した。

1) 講座

これまで開催してきた市民講座のなかで、特に継続の要望の高かった人気講座を中心に開催した。

◆実績

| 実施事業名 | 実施回数 | 延参加者数 |
|-------------------------|------|-------|
| 青春歌声広場（広野会場のみ雪の為 1 回中止） | 10 | 448 |
| こだわり料理教室 | 3 | 33 |

2) 活動支援

◎地域の美化活動支援（ガーデニングボランティア）

西小倉地域福祉センター及び公社中宇治事業所近くの空き地（「ぽっぽガーデン」と命名）の 2ヶ所の花壇を、ガーデニング教室から派生したガーデニングボランティアの皆さんと、春・秋の花壇の設計、植え替えを中心に、4月～11月は月2回、12月～3月は月1回管理作業を行った。

また、宇治支援学校の協力も得て、生徒とボランティアが協働で活動した。

◎コーヒーボランティア活動支援

「おいしいコーヒーの淹れ方教室」の受講者が、教室で学んだコーヒーの淹れ方の技術を活かして、公社が主催、協力するイベント（「コミュニティカフェ」、「れもんカフェ」）の他、宇治ボランティア活動センター主催の「ボランティアマッチングサロン」の喫茶コーナーで喫茶活動を行った。

◎自主グループの継続支援

昨年度までの輝き支援事業での各種講座がきっかけとなり誕生した自主グループ、「旬菜クラブ」「楽菜クラブ」「鱈菜クラブ」「楽歩会」「旅サークル」「写遊会」「青春同好会」の定例活動を支援した。

◎FOREVER FOLK in 宇治の継続

過去 12回にわたり開催してきた「FOREVER FOLK in 宇治」のこれまでの出演者・スタッフで独立した団体として立ち上がった『宇治市フォークソング愛好会 FOREVER FOLK』の活動として、「愛好会の集い（音タイム）」を2ヶ月に1回の計6回開催した他、地元福祉施設、地域のイベントでの演奏活動、公社のイベント協力として計13回実施するにあたり、会場の提供、物品の貸し出しなど支援を行った。

そして、自主団体として2回目の主催となる「第 14回 FOREVER FOLK in 宇治」を平成 28年 11月 20日に開催し、150名近い参加者を得て成功のうちに終了した。

さらに、京都府立山城総合運動公園太陽ヶ丘と公社とで地域連携、協働事業として覚書を締結し、『愛好会』と協働して太陽ヶ丘を活用しての地域の魅力創出のためにも貢献した。

3) 共催事業

宇治市生涯学習センター、宇治ボランティア活動センターと共催で、『仕事に没頭していた現役時代を卒業し、今までとは違った地域社会での活動や余暇の時間の活用を模索されている方』を対象に、生涯学習やボランティア活動等について紹介し、参加者同士の交流と活動に参加するきっかけ作りにつなげるために「はじめよう！セカンドライフ」を行った。

◆実績

| 実施日 | 内容 | 参加者数 | 場所 |
|---------------|---|--------|-------------|
| 1 講… 6月21日 | 1 講…「新しいことはじめ～ボランティア活動と楽しい仲間と充実した繋がり～」 深尾昌峰氏（龍谷大学准教授） | 1 講…15 | 宇治市生涯学習センター |
| 2 講… 6月28日 | 2 講…「セカンドライフの新たな発見～趣味やボランティアの多彩な活動～」 阿部順子氏（おはなしたまてばこ） 阪田憲子氏（HOT ふれあいサロンあじさい） 田尻紀郎氏（カナカナの会） | 2 講…17 | |
| 1 講… 9月28日 | 1 講…「新しいことはじめ～ボランティア活動と楽しい仲間と充実した繋がり～」 岡野英一氏（龍谷大学特任教授） | 1 講…10 | |
| 2 講… 10月5日 | 2 講…「セカンドライフの新たな発見～趣味やボランティアの多彩な活動～」 渡辺征二郎氏（UJI 版画サークル） 古島一博氏（楽々電子塾） 吉田秀子氏（NPO 法人働きたいおんなたちのネットワーク） | 2 講…14 | |
| 1 講… 2月17日 | 1 講…「新しいことはじめ～ボランティア活動と楽しい仲間と充実した繋がり～」 志藤修史氏（大谷大学教授） | 1 講…18 | |
| 2 講… 3月3日 | 2 講…「セカンドライフの新たな発見～趣味やボランティアの多彩な活動～」 今井典子氏（食育ボランティアこんぺいとう） 坂井しげの氏（ええとこめっけ uji） 堀井勝英氏（傾聴ボランティアかかし） | 2 講…17 | |

<定款第4条(9)> 地域保健福祉に寄与する関係団体等に関する支援、助成事業

地域力助成事業

地域住民が主体となって、地域力の向上や地域福祉の向上を目指して活動している4団体に対して、それぞれの活動を支援するために総額1,950千円の助成を行うことにより、福祉のまちづくりの原動力となる地域力の育成に寄与することができた。

◆実績

| 助成団体名 | 助成事業内容 | |
|--|--------------------|-------|
| 特定非営利活動法人「まちづくりねっと・うじ」 | 授産施設で作る製品の販売促進支援事業 | 500千円 |
| 特定非営利活動法人 わくわく [^] kyoto [^] | ダウン症児・者のための自立支援活動 | 500千円 |
| 特定非営利活動法人 就労ネットうじ「みっくすはあつ」「ゆめハウス」 | 食でつながる地域交流事業 | 450千円 |
| 特定非営利活動法人 カフェ頼政道 | 頼政道自分ノート作成事業 | 500千円 |



【今年度より毎月開催となり、毎回盛況の青春歌声広場】



【介護予防教室のサポーター研修には毎回多くのボランティア希望の市民が参加】

介護保険事業

<定款第4条(3)> 居宅介護支援、介護予防支援に関する事業

<定款第4条(4)> 訪問介護、介護予防訪問介護に関する事業

<定款第4条(5)> 通所介護、介護予防通所介護に関する事業



【利用者の重度化と職員の業務負担軽減の為に西小倉デイに導入した特殊浴槽】

<定款第4条(3)> 居宅介護支援、介護予防支援に関する事業

居宅介護支援事業

要支援・要介護の方からの相談に応じて、利用者の希望や心身の状態等を考慮した、適切な在宅または施設のサービスが利用できるよう、各種サービス事業者との連携を図り、介護及び介護予防サービス計画の作成、サービス提供の確保を行った。

◆実績

| | 西小倉 | 東宇治 | 広野 | 中宇治 | 計 |
|-------------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 介護支援専門員数 | 5 | 5 | 5 | 2 | 17 |
| 延給付管理件数 | 1,944 | 2,329 | 2,107 | 857 | 7,237 |
| 要支援 1 | 30 | 132 | 203 | 69 | 434 |
| 要支援 2 | 73 | 131 | 215 | 95 | 514 |
| 要介護 1 | 541 | 948 | 769 | 356 | 2,614 |
| 要介護 2 | 565 | 547 | 503 | 199 | 1,814 |
| 要介護 3 | 415 | 306 | 209 | 66 | 996 |
| 要介護 4 | 154 | 192 | 153 | 65 | 564 |
| 要介護 5 | 166 | 73 | 55 | 7 | 301 |
| 一人当たり給付管理/月 | 31.54 | 36.63 | 31.63 | 32.29 | 33.15 |

※一人当たり給付管理は、予防給付（要支援 1・2）については 1/2 件でカウント



【ケアマネジメント係と地域包括支援センター係合同の研修会を毎年開催】

<定款第4条(4)> 訪問介護、介護予防訪問介護に関する事業

訪問介護事業（ホームヘルプサービス）

要支援・要介護の方に対して、ホームヘルパーを派遣し、自立した日常生活を営むことができるよう、排泄・食事・入浴等の身体介護や、掃除・調理等の生活援助を行った。

◆実績

| | | | 西小倉 | 東宇治 | 広野 | 計 |
|-----------------------|----------------------------|--------|--------|--------|--------|--------|
| ＊ 介 護 給 付 | 身 体 介 護 | 延利用人数 | 479 | 368 | 493 | 1,340 |
| | | 延派遣回数 | 7,246 | 4,972 | 7,014 | 19,232 |
| | 身 体・生 活 | 延利用人数 | 151 | 280 | 270 | 701 |
| | | 延派遣回数 | 1,072 | 2,704 | 1,869 | 5,645 |
| | 生 活 援 助 | 延利用人数 | 949 | 588 | 938 | 2,475 |
| | | 延派遣回数 | 7,823 | 5,527 | 8,964 | 22,314 |
| ＊ 予 防 給 付 | 予 防 介 護 Ⅰ (週1回程度の訪問) | 延利用人数 | 238 | 327 | 439 | 1,004 |
| | | 延派遣回数 | 863 | 1,269 | 1,691 | 3,823 |
| | 予 防 介 護 Ⅱ (週2回程度の訪問) | 延利用人数 | 66 | 169 | 154 | 389 |
| | | 延派遣回数 | 522 | 1,334 | 1,231 | 3,087 |
| | 予 防 介 護 Ⅲ (週2回程度を超える訪問) | 延利用人数 | 35 | 13 | 6 | 54 |
| | | 延派遣回数 | 408 | 138 | 77 | 623 |
| 計 | 延利用人数 | 1,918 | 1,745 | 2,300 | 5,963 | |
| | 延派遣回数 | 17,934 | 15,944 | 20,846 | 54,724 | |

※介護給付は要介護1～5の方、予防給付は要支援1～2の方を対象



【ヘルパーを対象とした安全運転研修】



【介護技術の向上のためのヘルパー研修】

＜定款第4条(5)＞ 通所介護、介護予防通所介護に関する事業

通所介護事業（デイサービス）

要支援・要介護状態の方に対して、通所（送迎）による入浴、食事等の各種サービス、及びそれぞれのニーズに応じた介護、機能訓練等を提供し、利用者個々に満足してもらえるサービスの提供を行った。

認知症対応型デイサービスについては、宇治市内の8か所のセンターが 各々の課題について情報交換を行い、資質の向上を図る為の連絡会が開催され、認知症の人にやさしいまち・うじの取り組みにちなんで、「れもんデイサービス」の統一名称を用いることになった。

また、家族（介護者）に対しても身体的・精神的介護負担の軽減を図れるようサポートした。

◆実績

| 施設区分 | 西小倉 | | 東宇治 | | 広野 | 計 |
|--------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|
| | 通常型 | 認知症型 | 通常型 | 認知症型 | 通常型 | |
| 定員 | 25 | 10 | 25 | 10 | 23 | 93 |
| 運営日数 | 361 | 310 | 361 | 310 | 361 | |
| 延利用人員 | 7,718 | 1,606 | 8,117 | 1,313 | 6,086 | 24,840 |
| 要支援1 | 158 | 0 | 214 | 0 | 197 | 569 |
| 要支援2 | 799 | 0 | 829 | 0 | 185 | 1,813 |
| 要介護1 | 1,899 | 327 | 2,954 | 96 | 2,602 | 7,878 |
| 要介護2 | 1,940 | 237 | 2,083 | 360 | 1,348 | 5,968 |
| 要介護3 | 1,426 | 637 | 1,668 | 257 | 1,292 | 5,280 |
| 要介護4 | 705 | 359 | 308 | 276 | 315 | 1,963 |
| 要介護5 | 791 | 46 | 61 | 324 | 147 | 1,369 |
| 1日平均人数 | 21.38 | 5.18 | 22.48 | 4.24 | 16.86 | |



【モーニングカフェ広野での家族交流】



【東宇治デイにちはや姫登場】

障害者総合支援事業

<定款第4条(6)> 障害者福祉サービスに関する事業

<定款第4条(7)> 障害児福祉サービスに関する事業



【消防署から講師を迎えての救急救命講習】

<定款第4条(6)・(7)> 障害者・障害児福祉サービスに関する事業

居宅介護事業（ホームヘルプサービス）

障害者総合支援法に基づき、対象の方に対して、ホームヘルパーを派遣し、可能な限りその有する能力に応じた日常生活を営むことができるよう支援した。

◆実績

| | 西小倉 | 東宇治 | 広野 | 計 |
|-------|-------|-------|-------|--------|
| 実利用者数 | 44 | 39 | 40 | 123 |
| 派遣回数 | 6,013 | 4,847 | 4,308 | 15,168 |
| 派遣時間 | 5,365 | 6,493 | 3,661 | 15,519 |

移動支援

障害者総合支援法に基づき、対象の方に対してホームヘルパーを派遣し、外出のための移動支援を行った。

◆実績

| | 西小倉 | 東宇治 | 広野 | 計 |
|-------|-----|-----|----|-----|
| 実利用者数 | 2 | 5 | 2 | 9 |
| 派遣回数 | 136 | 675 | 13 | 824 |
| 派遣時間 | 69 | 337 | 71 | 477 |

障害者相談支援センター

在宅サービスを利用する障がい児者に対して計画相談が必須となることから、これに対応するために年度当初には3名の相談支援専門員を配置して事業にあたったが、年度途中で1名の退職があったため、大幅な利用者増には至らなかった。

◆実績

| | サービス利用計画作成 |
|-----|------------|
| 総件数 | 593 |
| 実人数 | 54 |

宇治市受託事業

<定款第4条(8)> 在宅保健福祉サービスに関する受託事業



【新たな地域活動の担い手として期待される健康長寿サポーター養成研修とつどいの様子】



【認知症の人の就労支援を目的とした茶摘み】



【認知症フォーラム in うじで子ども向けの認知症サポーター養成講座を実施】

<定款第4条(8)> 在宅保健福祉サービスに関する受託事業

訪問指導事業

1) 訪問指導事業（健康増進法に基づく事業）

40歳以上65歳未満の心身機能が低下している方を対象に、自宅に訪問し、運動指導や日常生活動作指導、及び機能訓練事業への参加に向けた事前のアセスメント等を行った。

◆実績 3件

2) 訪問型介護予防事業

二次予防事業の対象者のうち通所型事業に参加されない方を対象に、自宅に訪問し、運動器機能向上プログラムとして、介護予防となる運動を中心とした指導等を行った。

◆実績 63件

機能訓練事業

1) 機能訓練事業（健康増進法に基づく事業）

40歳以上65歳未満の心身機能が低下している方を対象に、機能の維持と日常生活の自立・活性化に資するための運動を「パワーリハビリ教室」の中で実施した。

◆実績（実人数） 1名 （延参加者数） 17名

2) 通所型介護予防事業

65歳以上で、宇治市の「お元気チェックリスト」で「機能低下あり」と判断された二次予防事業対象者に対して、自分の体重を活用した運動を主とする「足しっかり体操教室」と、機器を使ったトレーニングで身体の動きやすさを改善する「パワーリハビリ教室」と複合型のプログラムを有した「足腰改善体操教室」を、広野地域福祉センターをはじめとする各会場にて実施した。「足腰改善体操教室」は、参加数向上のために、公募、送迎対応等の工夫を行った。

◆足しっかり体操教室

（実施回数） 176回 <3会場 4グループ×44回>

（実人数） 176名 （延参加者数） 3,131名

| 会場 | 実人数 | 延参加者数 | 回数 | 平均参加者数 | 延ボランティア数 |
|------|-----|-------|-----|--------|----------|
| 東宇治A | 35 | 703 | 44 | 16.0 | 824 |
| 東宇治B | 35 | 568 | 44 | 12.9 | 373 |
| 西小倉 | 62 | 1,103 | 44 | 25.1 | 361 |
| 広野 | 44 | 757 | 44 | 17.2 | 250 |
| 計 | 176 | 3,131 | 176 | 17.8 | 1,808 |

◆パワーリハビリ教室

(実施回数) 264回 <2会場 3グループ×22回×4クール>

(実人数) 142名 (延参加者数) 3,110名

| 会場 | 実人数 | 延参加者数 | 回数 | 平均参加者数 | 延ボランティア数 |
|-----|-----|-------|-----|--------|----------|
| A広野 | 46 | 985 | 88 | 11.2 | 422 |
| B黄檗 | 57 | 1,069 | 88 | 12.1 | 424 |
| C広野 | 39 | 1,056 | 88 | 12.0 | 478 |
| 計 | 142 | 3,110 | 264 | 11.8 | 1,324 |

◆足腰改善体操教室

(実施回数) 88回 <2会場 22回×2クール>

(実人数) 62名 (延参加者数) 1,040名

| 会場 | *実人数 | 延参加者数 | 回数 | 平均参加者数 | 延ボランティア数 |
|----|------|-------|----|--------|----------|
| 広野 | 36 | 641 | 44 | 14.6 | 78 |
| 黄檗 | 26 | 399 | 44 | 9.1 | 62 |
| 計 | 62 | 1,040 | 88 | 11.8 | 140 |

*うち公募での参加者は40名

3) パワーリハビリ事業

65歳以上の利用希望者で、宇治市健康生きがい課で受け付け登録された方が、実施日に広野地域福祉センターへ来所してトレーニングを行う。基本的に利用者の自己管理・自主トレーニングであるが、機器操作や運動方法、安全管理等を専門職員が指導した。

◆実績

| 会場 | 実施回数 | 登録者数 | 延参加者数 |
|----|------|------|-------|
| 広野 | 90 | 48 | 3,567 |



【介護予防教室の風景】

認知症予防事業

1) 認知症予防教室

介護予防事業として、65歳以上で認知症の予防に関心のある方に対して、宇治市の介護予防拠点施設を中心に「頭いきいき教室」を開催し、教室に継続的（年22回）に参加する中で、他者との交流を深めながら、脳活性化訓練等を積極的に行い、認知症の予防を図ることを目的として実施した。前年度は希望者が多かったため、定員（16）より多く申し込みを受け付け、参加率も高く予算額を大幅に超える参加となった。今年度は、より適正な人数とするため、欠席を見込んだ定員超過人数を数名（4）に抑えて受け付けたが、参加率はよく、昨年度ほどではないが、予算額を超える参加となった。

◆実績

（実施回数） 132回 <6会場×22回>

（実人数） 124名 （延参加者数） 2,270名（請求は上限の2,112名）

| 会場 | 実人数 | 延参加者数 | 回数 | 平均参加者数 | 延ボランティア数 |
|-----------|-----|-------|-----|--------|----------|
| 伊勢田明星園 | 20 | 378 | 22 | 17.2 | 142 |
| 特養まごころ園 | 21 | 379 | 22 | 17.2 | 106 |
| ハーモニーやまはた | 21 | 403 | 22 | 18.3 | 108 |
| ヴィラ鳳凰 | 22 | 368 | 22 | 16.7 | 65 |
| 宇治愛の郷 | 19 | 327 | 22 | 14.9 | 75 |
| まごころ大久保 | 21 | 415 | 22 | 18.9 | 95 |
| 計 | 124 | 2,270 | 132 | 17.2 | 591 |

2) 脳活性化教室

前年度に引き続き申込不要の認知症予防事業を、3会場で月各1回ずつの講座を実施した。

前年度は、4回シリーズとしたため、年度の後半に向けて参加者が減少するという状況となったため、今年度は、月ごとにテーマを決めた講話と脳活性化ゲーム・運動を毎回取り入れ、健康づくりに役立つ内容とした。テーマの中には、栄養講話や口腔ケアの内容も盛り込んだ。

脳の健康度チェックにファイブコグテストも継続して取り入れ、自身の認知機能の状況を把握していきいきとした日常を過ごすきっかけに役立てていただくよう、働きかけた。

◆実績

（実施回数） 36回 <3会場×12回> （延参加者数） 1,052名

| 会場 | 延参加者数 | 回数 | 平均参加者数 |
|-------------|-------|----|--------|
| 東宇治地域福祉センター | 258 | 12 | 21.5 |
| 西小倉地域福祉センター | 439 | 12 | 36.6 |
| うじ安心館 | 355 | 12 | 29.6 |
| 計 | 1,052 | 36 | 29.2 |

きらり教室

宇治市の要請を受けて、就学前の児童で発達に不安のある子どもと親を対象とした教室に、作業療法士を派遣した。＜今年度末を以て終了＞

教室 37 回・会議 11 回、計 48 回（36 日）の出務を行った。

地域包括支援センター運営事業

宇治市からの委託を受けて市内 3 か所（西宇治、東宇治南、中宇治）にて地域包括支援センターの運営事業を行った。

1) 介護予防支援事業（要支援 1・2 の方の給付管理）

◆実績

※居宅介護支援事業所への委託件数含む

| | 西宇治 | 東宇治南 | 中宇治 | 計 |
|-----------|-------|-------|-------|-------|
| 年間給付管理件数 | 2,464 | 3,950 | 2,429 | 8,843 |
| 月平均給付管理件数 | 205 | 329 | 202 | 736 |

2) 総合相談・権利擁護・包括的支援事業

◆実績

| 相談対応の内容等 | 西宇治 | 東宇治南 | 中宇治 | 計 |
|----------------|-------|-------|-------|--------|
| 介護保険サービスに関すること | 3,615 | 3,324 | 2,784 | 9,723 |
| 成年後見制度に関すること | 52 | 124 | 9 | 185 |
| 高齢者虐待に関すること | 171 | 383 | 33 | 587 |
| その他の権利擁護に関すること | 4 | 81 | 36 | 121 |
| 相談件数計 | 3,842 | 3,912 | 2,862 | 10,616 |
| (再掲) ケアマネ支援 | 43 | 152 | 107 | 302 |
| 当年度新規実人数 | 446 | 642 | 563 | 1,651 |

3) 小地域包括ケア会議開催

◆開催状況一覧

| 包括名 | 開催日 | 参加者数 | テーマ |
|------|--------|------|------------------------------------|
| 西宇治 | 7月26日 | 41 | 「介護・医療等専門職を超えた地域ネットワークを考える |
| | 11月22日 | 24 | 「高齢者における日常生活の困りごとを考える」グループワークを通して～ |
| | 2月20日 | 22 | 「わたしたちができること～それぞれの立場から」 |
| 東宇治南 | 9月15日 | 44 | 地域でつつむ認知症（南部学区） |
| | 11月24日 | 44 | 地域でつつむ認知症（三室戸学区） |
| | 1月13日 | 42 | 地域でつつむ認知症（宇治学区・岡屋学区） |
| 中宇治 | 9月14日 | 23 | 事例検討会 |
| | 12月26日 | 12 | 声掛け訓練に向けて（必要性を共有） |
| | 1月17日 | 14 | 声掛け訓練に向けて（流れとルート提案） |
| | 2月8日 | 13 | 声掛け訓練に向けて（ルート再確認・役割確認） |
| | 2月23日 | 64 | 声掛け訓練本番 |



【西宇治圏域の小地域包括ケア会議】



【東宇治南圏域の小地域包括ケア会議】



【中宇治圏域の小地域包括ケア会議】



【2回目となる中宇治圏域の声掛け訓練】

4) 初期認知症総合相談支援事業

認知症になっても住み慣れた地域で生活が継続できるよう、専任の認知症コーディネーター2名（社会福祉士）とアルバイトの看護師1名を配置し、医療、福祉等とのネットワークを形成し、認知症の人や家族に対し、状況に応じた適切な支援を行うことと、初期認知症の特性に配慮して切れ目のない支援を提供するために、状況に応じた適切な医療、介護等との連携を図るとともに、必要となる社会資源等を構築することを目的に実施した。

4年目となる本年度も、全国的にも高い関心と注目を集める認知症対応型カフェ「れもんカフェ」と認知症初期集中支援チームの運営を両輪として、認知症当事者、家族への初期からの支援を行う一方で、認知症サポーター養成研修や認知症を正しく理解するための連続講座の開催等、啓発活動にも引き続き力を入れた。

特に、「認知症の人にやさしいまち・うじ市長宣言」の実現に向けた新たな取り組みとして、医療・介護・福祉・行政に加え、企業・団体等とも連携し、市域全体で認知症の人の視点に立った支援体制の構築を図るために、平成28年3月21日に全国の自治体として初めての取り組みとなる「宇治市認知症アクションアライアンス“れもねいど”」が始動した。公社はこの事務局機能を担うことになり、年4回の「宇治市認知症アクションアライアンス“れもねいど”推進協議会」の開催と、れもねいど加盟企業・団体との連携によるモデル事業の実施等にも取り組んだ。そしてその締めくくりとして、平成29年3月20日に「第3回認知症フォーラムinうじ」を開催し、アクションアライアンス1年目の取り組み等について市民、関係者に対して報告を行った。

① 二次予防事業該当者訪問（初期スクリーニング訪問）の実施

宇治市内の二次予防事業該当者のうち認知機能低下に該当する人で、宇治市が開催する介護予防事業への参加がなかった人214名を対象に、訪問による実態の把握と必要に応じて本人支援や家族支援につなぐことを目的に実施したが、うち、介護保険サービスが必要な状態の方も8名おられ、地域包括支援センターに訪問依頼し、住宅改修やデイサービスの利用につながったケースがあった。

② 認知症対応型カフェの企画・管理

「れもんカフェ」の名称で市内圏域にて計33回開催した。（本年度より北宇治包括に認知症コーディネーターが増員され、公社の認知症コーディネーターの担当圏域は3圏域になった。）

【れもんカフェ開催状況】

| 圏域名 | 開催場所 | 開催回数 | 参加者数 |
|--------|---------------------------|-------|-------|
| 東宇治北圏域 | カフェクラリネ ハーモニーやまはた 頼政道 | 5(1) | 188 |
| 東宇治南圏域 | 東宇治地域福祉センター オーキタ | 4 | 141 |
| 中宇治圏域 | カフェアドリアーナ 広野地域福祉センター | 4 | 115 |
| 北宇治圏域 | リオス模島 | 12 | 394 |
| 西宇治圏域 | 床の宿 Regoletto 西小倉地域福祉センター | 4 | 124 |
| 南宇治圏域 | とんがり山のとっぺん DE! | 4 | 90 |
| 合計 | | 33(1) | 1,052 |

* () はお試しカフェ

③ 認知症初期集中支援チーム事業の実施

認知症になっても本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域のよい環境で暮らし続けられるために、認知症の方やその家族に早期に関わるための「認知症初期集中支援チーム」を配置し、早期診断・早期対応に向けた支援体制を構築することを目的に実施した。

チームは市内全域を対象として、圏域の包括等との連携により実施し60ケースの訪問調査と介護サービス導入や、医療受診等必要な支援を行った。

④ 認知症を正しく理解するための連続講座の開催

市民や市内の介護保険事業者、医療関係者に対して啓発事業の一環として、京都府立洛南病院副院長の森俊夫先生等を講師に、認知症を正しく理解いただくための連続講座を開催した。今年度は一般市民向けと専門職向けとに内容を分け、それぞれ5回シリーズで開催した。全ての講座を受講された方に宇治市長名で修了証を発行すると共に、希望者には宇治市の認知症事業のボランティアである「れもねいだー」に登録をいただいた。

【一般市民対象講座】 受講者数 45名 れもねいだー登録者数 14名

| 開催月日 | 内容 |
|--------|-----------------|
| 6月5日 | 認知症を正しく理解する |
| 7月3日 | 認知症の当事者から学ぶ |
| 8月14日 | 地域で支える認知症① |
| 9月11日 | 地域で支える認知症② |
| 10月23日 | 認知症の人にやさしいまち・うじ |

【医療・介護専門職対象講座】 受講者数 46名 れもねいだー登録者数 21名

| 開催月日 | 内容 |
|--------|-----------------|
| 11月13日 | 認知症を正しく理解する |
| 12月11日 | 認知症の当事者から学ぶ |
| 1月8日 | 地域で支える認知症① |
| 2月12日 | 地域で支える認知症② |
| 3月12日 | 認知症の人にやさしいまち・うじ |



【連続講座では認知症のご本人も登壇される】

⑤ 初期集中支援チーム、認知症カフェ関連の研修会等への講師派遣、視察・取材対応

全国的な注目を受ける宇治市の取り組みについて、全国各地の自治体や関係団体から講師派遣依頼を受け職員を派遣した。宇治市の認知症施策は全国的にも先進事例として紹介をされていることから、本年度も全国の自治体や関係団体等からの視察や、マスコミ等からの取材を受け入れた。

【講師派遣】

| 開催日 | 依頼・講演先 | テーマ・内容 |
|--------|----------------------------|------------|
| 5月20日 | 宇治市福祉人材研修 | 認知症施策について |
| 6月12日 | 山城認知症ケアネットシンポジウム | 認知症施策について |
| 6月17日 | 奈良県東和地区地域包括支援センター連絡会研修 | 認知症施策について |
| 6月26日 | 枚方市香陽校区福祉委員会 | 認知症について |
| 8月10日 | 認知症地域支援推進員研修 | 認知症施策について |
| 8月26日 | 福祉人材研修 | 認知症施策について |
| 9月13日 | 全国市町村国際文化研修所 | 認知症施策について |
| 9月27日 | 新日本サービス研修 | れもねいどについて |
| 10月21日 | 沖縄県作業療法士会 認知症初期集中支援に関する研修会 | 初期集中支援について |
| 10月23日 | 京都府作業療法士会 | 初期集中支援について |
| 10月22日 | 朝日新聞厚生文化事業団 | 認知症カフェについて |
| 10月27日 | 広小路認知症カンファランス | 初期集中支援について |
| 12月10日 | 阪和地域リハビリテーション研究会 | 認知症施策について |
| 2月2日 | 大阪市淀川オレンジネット研修会 | 認知症カフェについて |
| 2月3日 | 奄美病院主催介護従事者向け認知症研修会 | 認知症施策について |
| 2月3日 | 奄美病院主催認知症カフェ実践者研修会 | 認知症カフェについて |
| 2月4日 | 奄美病院主催市民向け認知症研修会 | 認知症について |
| 2月26日 | あじさいサロン | 認知症について |

【視察・取材受け入れ状況（れもんカフェ）】

| 受入月日 | 視察・取材希望団体 | 場所 |
|--------|--------------------|----------------|
| 5月8日 | NHK（認知症啓発スポット番組） | れもんカフェ（リオス） |
| 5月28日 | 四日市市役所 | れもんカフェ（西小倉） |
| 8月14日 | 奈良県作業療法士会 | れもんカフェ（リオス） |
| 7月3日 | 枚方市ほっとステーション | れもんカフェ（リオス） |
| 6月18日 | いずみ野カフェ | れもんカフェ（とんがりやま） |
| 10月23日 | 日本作業療法士協会 | れもんカフェ（リオス） |
| 11月13日 | 医療法人 牧和会 牧病院 | れもんカフェ（リオス） |
| 12月11日 | 城陽市地域包括支援センター | れもんカフェ（リオス） |
| 12月17日 | 深草・北部地域包括支援センター | れもんカフェ（リオス） |
| 1月8日 | 名古屋市みどり区役所区民福祉部 | れもんカフェ（リオス） |
| 3月12日 | 愛知県豊明市南部地域包括支援センター | れもんカフェ（リオス） |

【視察受け入れ状況（初期集中支援チーム）】

| 受入月日 | 視察団体 | 場所 |
|--------|-----------|----------|
| 6月28日 | 京都府作業療法士会 | 府立洛南病院 |
| 7月4日 | 高島市 | 府立洛南病院 |
| 7月26日 | 福知山市 | 府立洛南病院 |
| 10月18日 | 石川県 | 府立洛南病院 |
| 11月7日 | 中京区医師会 | 府立洛南病院 |
| 12月21日 | 京田辺市 | 宇治おうばく病院 |

【視察受け入れ状況（アクションアライアンス・事業全般）】

| 受入月日 | 視察団体 | 内容 |
|-------|-----------|------------|
| 5月27日 | 京都府高齢者支援課 | れもねいど推進協議会 |
| 8月4日 | 山口県宇部市視察 | 事業全般 |

⑥ 第3回認知症フォーラム in うじの開催

平成28年3月21日に開催した「第2回認知症フォーラム in うじ」で、全国でも初となる取り組みである「宇治市認知症アクションアライアンス “れもねいど”」が始動をして丸1年を迎える平成29年3月20日に開催した。

午前の部では子どものうちから認知症に対する正しい理解を深める取り組みが必要なことから、初めての試みとなる「こどもれもねいど（子ども向け認知症あんしんサポーター養成）」を開催し、40名近い子どもと親に参加を頂いた。

続いて認知症当事者・家族自身に認知症の発症から現在に至る心境を語っていただいた「ビデオ旅のしおり」を上映した。このビデオは公社が2組の当事者・家族と森先生のご協力をいただき作成した。

午後の部では宇治市の認知症施策の取り組み情報の報告に続き、山本市長にも登壇いただき、“れもねいど”始動から1年目の取り組みについて、アクションアライアンスに参画された茶農家、小売業、大学の3団体と当事者の皆さんによる実践報告を行った。

◆開催日 平成29年3月20日(月)

◆場 所 宇治市生涯学習センター

◆参加者 市民、関係者等250名

◆内容 <<午前の部>>

1) こどもれもねいど～れもん先生に聞いてみよう～ 宇治おうばく病院樋川毅先生他

2) ビデオ 旅のしおり 上映

<<午後の部>>

1) 基調報告「れもねいど活動1年の振り返り」

「当事者評価の必要性について」 京都文教大学 平尾和之先生

2) れもねいど活動実践報告と評価

①青山製茶 ②京都生活協同組合コープ宇治神明店 ③京都文教大学

宇治市地域福祉センター指定管理事業

指定管理者として、西小倉地域福祉センター、東宇治地域福祉センター、広野地域福祉センターの施設・設備にかかる管理運営を行った。

1) テイルーム等の利用状況

◆実績

| | 西小倉 | | 東宇治 | | 広野 | | 計 | |
|----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|--------|
| | 利用者数 | (内入浴) | 利用者数 | (内入浴) | 利用者数 | (内入浴) | 利用者数 | (内入浴) |
| 男性 | 6,310 | 5,256 | 4,133 | 3,863 | 1,801 | 814 | 12,244 | 9,933 |
| 女性 | 2,248 | 1,532 | 3,419 | 2,712 | 3,698 | 1,276 | 9,365 | 5,520 |
| 計 | 8,558 | 6,788 | 7,552 | 6,575 | 5,499 | 2,090 | 21,609 | 15,453 |

2) 施設の利用状況

◆実績

| 利用区分 ※()は広野での呼称 | 西小倉 | | 東宇治 | | 広野 | | 計 | |
|---------------------|-------|--------|-------|--------|-----|-------|-------|--------|
| | 件数 | 利用者数 | 件数 | 利用者数 | 件数 | 利用者数 | 件数 | 利用者数 |
| ボランティアルーム | 262 | 4,584 | / | / | / | / | 262 | 4,584 |
| 地域交流室(会議室) | 387 | 11,673 | 511 | 16,780 | 149 | 4,099 | 1,047 | 32,552 |
| 研修室(介護者教育室) | 387 | 11,673 | 511 | 16,780 | 153 | 4,188 | 1,051 | 32,641 |
| 料理教室 | 274 | 7,378 | 116 | 2,423 | 54 | 1,495 | 444 | 11,296 |
| 計 | 1,310 | 35,308 | 1,138 | 35,983 | 356 | 9,782 | 2,804 | 81,073 |

3) コミュニティカフェ及び地域福祉のつどい開催

【コミュニティカフェ】

| 開催月日 | 場所 | 内容 | 参加人数 |
|--------|-------------|------------------------|------|
| 8月28日 | 西小倉地域福祉センター | フラダンス、屋台、喫茶コーナー等 | 154 |
| 10月8日 | 東宇治地域福祉センター | マジックショー 縁日コーナー、バザー他 | 165 |
| 10月10日 | 広野地域福祉センター | 大開小金管バンド、フォークソング、軽食販売等 | 150 |

【地域福祉のつどい】

| 開催月日 | 場所 | 内容 | 参加人数 |
|-------|-------------|-------------------------------------|------|
| 2月18日 | 東宇治地域福祉センター | 認知症をともに学びまSHOW、活動団体発表、軽食販売・音楽コンサート等 | 117 |
| 2月26日 | 広野地域福祉センター | 薬剤師による講演、軽食販売、フォークソング、関係団体による展示、販売等 | 120 |
| 3月4日 | 西小倉地域福祉センター | 登録団体から小地域活動の実践発表 | 80 |

生活支援の訪問介護事業

それぞれの対象の方に対して、下記の通りホームヘルパーを派遣し、可能な限りその有する能力に応じた日常生活を営むことができるよう支援した。

利用者は広野事業所で 1 名であった。

◆実績 (派遣回数) 22 回 (派遣時間) 22 時間

宇治市生活支援体制整備事業

平成 29 年度より完全実施となる地域支援事業への移行に向けて、要支援者層に対する新たな介護予防サービスの創設や、協議体の組織化に向けた調査研究をはじめ、地域における担い手養成や住民主体による支え合い活動づくりのサポート等を行う目的で、昨年度より委託を受けて実施した。

1. 高齢者の日常生活支援体制整備に関する研究・創出事業

①地域支援組織等多様な主体への働きかけ

平成 28 年 1 月に若葉台自治会助け合い活動準備委員会が立ち上がり、おおむね毎月 1 回開催される委員会へ参加。

準備委員会の中では、委員会規約の検討の他、サロン部会、生活支援部会、安否確認部会の 3 部会を設けられ、具体的な活動について協議を重ね、平成 28 年 11 月より集会所での「サロン」、平成 29 年 1 月より「生活支援」、「いのちのカプセル」の活動を開始された。

②サポーターを活用したモデル事業の実施及び検証（訪問・通所）

2 回にわたる「宇治市健康長寿サポーターのつどい」における意見を踏まえ、地域の高齢者にどのような支援が必要かを健康長寿サポーターとともに考え、住民主体による新しい支え合いサービスの創出を目的として、『宇治市地域支え愛活動づくりモデル事業』の一環として「通いの場づくりモデル」を 2 会場と「訪問による生活サポートモデル事業」を 1 圏域にて実施した。

2. 住民主体の生活支援活動の推進事業

①健康長寿サポーターの養成

一人暮らし高齢者など日常的なサポートが必要な方が、住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、掃除や買い物等の生活支援や居場所等のボランティア活動などの担い手になっていただき、地域住民の暮らしを支えることや新たに地域での活動に参加いただくことを目的に、「健康長寿サポーター養成講座入門編」を 4 回シリーズで前期 2 会場（ハーモニーやまはた、うじ安心館）、後期 2 会場（特別養護老人ホームまごころ園、リエゾン宇治大久保）の計 4 会場で実施し、延べ 39 名が受講した。

3. 宇治市生活支援員（通称 39 支援員）養成事業

要支援認定等をもつ高齢者に対して掃除・買い物・洗濯等の家事のみを支援するサービスを平成 29 年 4 月から開始するにあたり、その担い手として従事できる方を養成する研修を実施した。

介護保険制度や介護サービス提供時の留意点、コミュニケーション技術、家事援助技術等 39 時間のカリキュラムを組み、定員 20 名のところ 25 名の申し込みがあり 24 名が修了された。

4. 生活支援体制整備に関する地域関係団体等の組織化事業

平成 29 年 4 月からの総合事業への移行に向け、宇治市社会福祉協議会、宇治市シルバー人材センター及び宇治市の四者で協議を進めてきたが、そこに各地域包括支援センターにも参画いただき、市内の高齢者を取り巻く状況認識の共有化、生活支援の体制整備にあたっての課題や問題点の議論を行うために宇治市生活支援体制整備研究会を計 3 回開催した。

5. 生活支援体制整備に関する四者協議

平成 27 年度から生活支援体制整備の推進を目的に、4 者（宇治市・宇治市社会福祉協議会・宇治市シルバー人材センター・宇治市福祉サービス公社）における会議を継続して月 1 回開催し、情報共有、意見交換を行った。

6. 宇治市健康長寿フェスの開催

新しい介護予防・日常生活支援総合事業の移行に向けて、「健康長寿の地域づくり」をテーマに宇治市の介護予防事業の体験、展示、新制度の説明や地域活動の実践報告等を平成 29 年 2 月 24 日に宇治市生涯学習センターを会場に開催し、延べ 300 名の参加を得た。



～支え愛から始まるまち（地域）づくり～
健康長寿フェス 2017
2月25日(土)
午前10時～午後4時30分
会場：宇治市生涯学習センター

申込不要
入場無料

人生90年の時代、住み慣れた地域で暮らしていくにはどうしたらいいのかわからない、地域で、いかに、自分らしく生きるヒントを探してみませんか？住民主体の取組みを紹介しながら、「健康長寿」をキーワードに、これからのまち（地域）づくりを探ります。

午前の部
10:00～12:00
介護予防教室体験（体操と歌）
基調講演
「協力・共創の地域づくりから生きがいへ」
講師：山本 重晴氏
（大谷大学 教授）
地域活動団体等の「パネル展示」
健康測定コーナー
地元福祉団体によるカフェコーナー

午後の部
13:00～15:00
地域支え合い活動実践発表
パネルディスカッション
地域活動団体等の「パネル展示」
健康測定コーナー

主催：宇治市（一財）宇治市福祉サービス公社
後援：社会福祉法人宇治市社会福祉協議会
公益社団法人宇治市シルバー人材センター



【総合事業をテーマにした初めての健康長寿フェスを開催】

脳活性化事業（歌笑会）

認知症予防事業の一環として市内3会場にて、月1回の開催により音楽を用いて身体を動かし、懐かしい歌を歌いながら、認知症を正しく理解(ミニ講座)し、楽しく予防する教室を企画・開催し好評を得た。

◆実績

| 会場 | 男性（延べ） | 女性（延べ） | 未提出者 | 合計 | 定員充足率 | 実人数 |
|---------------------|--------|--------|------|-------|-------|-----|
| 伊勢田明星園 （定員 30 名） | 27 | 395 | 4 | 426 | 118.3 | 85 |
| ヴィラ鳳凰 （定員 40 名） | 66 | 441 | 15 | 522 | 108.8 | 81 |
| まごころ園 （定員 40 名） | 27 | 282 | 0 | 309 | 64.4 | 61 |
| 計 | 120 | 1,118 | 19 | 1,257 | 95.2 | 227 |

宇治市福祉人材研修事業

宇治市からの受託事業として、市内の介護保険事業者を対象とした研修を実施した。

◆実績

| 研修名 | 実施日 | 参加人数 |
|--|------------|------|
| 「宇治市の行政施策とインフォーマルサービスを学ぼう」「ケアマネジメント業務において押さえておきたいポイントを学ぼう」 | ① 5月17日（火） | ① 41 |
| | ② 5月20日（金） | ② 29 |
| 主任介護支援専門員の役割とファシリテーション技術を学ぶ | 6月8日（水） | 39 |
| 施設も在宅も！今一度アセスメントを見直し、「課題整理総括表」を使いこなそう | 6月14日（火） | 69 |
| 認知症ケアを学ぶ | | |
| ①心に響く認知症ケアとは？～事例を通して学ぶ～ | ① 8月26日（金） | ① 35 |
| ②最新の認知症医療の動向を学ぶ | ② 9月2日（金） | ② 56 |
| ケアマネジャーに必要な医療知識を学び、ケアプランへの位置づけを学ぶ | 9月12日（月） | 40 |
| 介護職員のための介護技術研修「移動・移乗介助を学ぶ！」 | 10月6日（木） | 25 |
| とことん聞いてみませんか！介護現場における「病気のこと、薬のこと」～介護職員・ホームヘルパー・ケアマネジャーも！～ | 11月14日（月） | 38 |
| 「障害者の高齢化を考える」～障害福祉サービスから介護保険サービスへのスムーズな移行のために～ | 12月14日（水） | 38 |
| 精神に障害のある人への向き合い方～事例と共に考え、学ぶ～ | 1月17日（火） | 46 |
| 伝えたいことが伝わり、情報の共有ができる記録の書き方・残し方を学ぶ | 2月14日（火） | 25 |

20周年事業



【設立 20 周年記念式典での岡本理事長の挨拶】



【田實事務局長と20周年プロジェクト委員による20周年宣言】

20周年事業の主な取り組み

《ロゴマーク・キャッチコピー・キャッチフレーズの活用》

全職員に対して、ロゴマーク・キャッチコピー・キャッチフレーズの提案を募り、20周年事業企画プロジェクトの中で以下の通り決定し、様々な場面で活用した。

*ロゴマーク



*キャッチコピー

「20年の感謝 二十歳の飛躍」

*キャッチフレーズ

「20年の感謝 二十歳の飛躍」～新たに創る豊かな地域～

【具体的な活用例】

横断幕の作成、シール・車両用マグネットシートの作成、名刺や封筒への印字、各種記念品への印字、その他広報への活用

《着ぐるみ“ぽっぽ”の作成》

永年愛着されてきた公社イメージキャラクター“ぽっぽ”が「ぽかぽかと暖かいたんぽぽ」のような愛らしい容姿で、元気いっぱいに躍動する“ぽっぽ”として誕生した。

コミュニティカフェや地域福祉のつどい等の公社各種イベントをはじめ、赤い羽根街頭共同募金等の多くの市民に触れ合う場面にも参加し、公社の啓発活動に大いに貢献した。

《記念誌の発行》

宇治市長、宇治市議会議長、宇治市社会福祉協議会会長からお祝いの言葉を頂くとともに、公社の沿革、数字で見る公社20年の実績のあゆみ、設立当初の職員による座談会、関係者からの声も掲載した各事業所の紹介、20周年宣言の表明等、全31ページの記念誌を350冊発行し、記念式典等で配布した。

《記念式典・祝賀会の開催》

3月25日公社設立の日に、京都タワーホテルにて来賓と職員の総勢177名の参加のもと、第一部記念式典、第二部祝賀会を盛会に開催することができた。

また、第一部では、勤続20年職員18名、勤続10年職員55名の永年勤続職員への表彰を行い、永きに亘る職務への功績を労った。

《福利厚生委員会・広報委員会との連携》

福利厚生委員会では、職員向け福利厚生事業の各プログラム内容についての充実を図り、社内における20周年の意識を高めた。

また、広報委員会では、各種イベント用のノベルティグッズとして20周年ロゴマーク入りのマルチクロスを1,500枚作成し、市民等への広報の一環として効果的に配布した。

《ぼっぼとうじピヨンの未来（あす）の地域（うじ）の福祉を考える合同プロジェクト》

【合同プロジェクトに至る経緯】

公社設立 20 周年を翌年に控えた平成 27 年度に、公社 20 周年事業企画「設立の原点に立ち返って考える」の一環として、宇治市社会福祉協議会に呼びかけて計 3 回にわたる合同勉強会を開催した。この中で「自分達が働くまちうじ、自分達が暮らすまちうじ」の今後の福祉を考える上で、自分たちの組織は、どんな使命を持ち、どんなことをやっていくべきなのか、どんな連携ができるのかを改めて考える機会を持ち、これからの宇治の福祉を考える有意義な場となった。

そこで、平成 28 年度から合同勉強会を更に発展させた「ぼっぼとうじピヨンの未来（あす）の地域（うじ）の福祉を考える合同プロジェクト」を立ち上げた。

【実施目的】

公社は平成 9 年 3 月に設立し、平成 29 年 3 月に設立 20 周年の節目を迎え、それは同時に宇治市社会福祉協議会の地域における役割・機能が転換してから 20 年が経過することを意味する。奇しくも平成 27 年度の介護保険制度改正により平成 29 年度からは新たな地域支援事業へと移行し、今後は地域住民の主体的な関わりにより地域福祉を再構築していくことになり、社協、公社双方の役割は益々重要になってくる。

更に超高齢者社会の諸問題に加えて、地域社会には精神的な不安を抱えた人達の課題や、貧困（子どもの貧困）、ひきこもり等、広範な課題が地域社会には山積し、複雑・困難化した事例も多くあり、縦割りの制度・政策では太刀打ちできない状況も数多く見受けられる。

こうしたことから、社協、公社がこれまでの歩み、果たしてきた役割を振り返り、これから先の時代を見据えて双方の役割の再確認と再構築、更に新たな連携の在り方を模索するために合同プロジェクトチームを立ち上げて宇治市における諸問題の整理とそれらへの対処方法について検証、実践を行う。

この取り組みに対し学術的立場から助言指導いただくため、大谷大学文学部社会学科教授志藤修史氏に講師を依頼した。

【目標と結果】

1) 宇治モデルの構築 【タスクゴール】

●目標

平成 29 年度の新たな介護保険制度総合事業のスタート、生活困窮者自立支援事業の見直しなどから、実際に公共性の高い組織として、地域で「ともに」何ができるのか考え、それを冊子化する。

●結果

組織を超えた初めての活動の中で、双方の業務内容や役割の理解、また共通する課題や悩みを共有化することができた。その上で国の制度や宇治市政により大きな影響をうける両社が手を組み、山積する地域課題の解決に向けて、宇治市内の様々な機関を巻き込み、宇治ならではの地域づくりを進めていく必要性を確認した。

最終的には報告会を開催し、プロジェクトメンバー以外の双方の役職員、行政担当者等に対して 1 年間の取り組みを理解いただき、併せて先進事例の紹介を通して「宇治モデル」の実現に向けて宇治という地域で活動する両社が今後手を携えて共働・協働していくことの必要性を確認できた。

2) 社協・公社の「連携」「協働」の在り方検討【プロセス・ゴール】

●目標

平成 29 年度の新たな介護保険制度総合事業のスタート、生活困窮者自立支援事業の見直しなどを含めた中で、他機関との「連携」「協働」とはなにかを考える。

●結果

社協、公社という異なる機関が 1 年間を通じて実際に共同作業を行うことで、真の「連携」「協働」の在り方を理解することができた。

また、2 回の合同勉強会には行政担当者にも参加をいただき、行政・社協・公社の三者による「連携」「協働」の必要性を確認することができた。

更に、サブプロジェクトチームによるモデル事業（WANTED!!「制度の狭間」意見交換会）には市内の居宅介護支援事業者、訪問介護事業者、障害者相談支援事業者にも参加をいただき、組織の枠を超えた横のつながりの必要性を体感することができた。

3) 今後の宇治市における地域福祉を考えるための社協・公社の連携基盤整備【リレーションシップ・ゴール】

●目標

平成 29 年度からの新たな介護保険制度総合事業以降も、介護保険制度をはじめとする関連諸制度等の改正等見直しの度に、宇治市の地域福祉の在り方が問われることが想定され、その折々で社協・公社が相互に連携・協働し、行政とも連携しつつ地域福祉を考えていく基盤を作る。

●結果

活動に取り組むにあたって組織の違いも明確になったが、そのことにより自分たちの組織の役割の明確化にもつながった。とりわけ共通部分として両社の「公共性」の高さと、その公共性が故に制度改正等により常に変化を余儀なくされるその時々の課題に対して、採算を度外視した公共性の高い関わりが求められること。それを実行するためには両社は「事業」から仕事を見るのではなく、地域や利用者の「暮らし」から仕事を考える視点を持った活動が重要となることを再認識した。

そして、それらを政策に反映させていくためには、双方が連携・協働し、併せて宇治市との連携により、その時代毎の課題に対して対応できる基盤整備を行うことが今後益々重要になることを確認した。



【公社と社協の職員による合同プロジェクト】



【年 2 回の合同勉強会を開催】

【実施状況】

1. コア会議の開催

社協、公社より担当者として双方の事務局次長が事業全体の進行管理、講師との調整、プロジェクトメンバーのフォロー、社協・公社間の連携調整を行った。

| | 開催日 | 議題等 |
|------|-------|------------------------------|
| 第1回 | 4月6日 | 年間計画の確認 |
| 第2回 | 4月27日 | 第1回合同プロジェクトのテーマについて |
| 第3回 | 6月2日 | 第1回合同プロジェクトのまとめと第2回に向けて |
| 第4回 | 7月7日 | 第2回合同プロジェクトに向けてロードマップづくり |
| 第5回 | 8月4日 | 第2回合同プロジェクトのまとめと合同勉強会企画 |
| 第6回 | 9月6日 | 第1回合同勉強会のまとめ 第3回合同プロジェクトに向けて |
| 第7回 | 9月30日 | 第3回合同プロジェクトのまとめ サブプロジェクトについて |
| 第8回 | 11月7日 | 前半のまとめと後半に向けての課題整理 |
| 第9回 | 1月20日 | サブプロジェクトの進捗状況確認 次年度に向けて他 |
| 第10回 | 3月23日 | 第4回合同プロジェクトのまとめと報告会に向けて |

2. 合同プロジェクトチームの開催

社協、公社双方より選出されたメンバー（公社9名 社協7名 計16名）により社協、公社の「協議」「連携」「協働」の在り方、モデル化を検討するための会議を開催する他、モデル事業、合同勉強会の企画を行った。

| | 開催日 | テーマ・内容 |
|-----|--------|-------------------------------|
| 第1回 | 5月20日 | グループワーク「要支援1、2の介護課題にどう向き合うのか」 |
| 第2回 | 7月28日 | 第1回のまとめ 先進地視察報告 意見交換 |
| 第3回 | 9月16日 | サブプロジェクトの編成とグループワーク |
| 第4回 | 11月25日 | 上半期報告 サブプロジェクトの協議と報告 |
| 第5回 | 2月27日 | サブプロジェクトの報告 1年間のまとめ |

3. サブプロジェクトチームの開催

合同プロジェクトの議論の中で、2社で具体的な取り組みを行うために、二つのサブプロジェクトチームが編成された。

| | 開催日 | テーマ・内容 |
|-----|--------|------------------------|
| 第1回 | 12月9日 | コアと企画経営サブプロジェクト合同会議 |
| 第2回 | 12月12日 | コアと課題対応力向上サブプロジェクト合同会議 |
| 第3回 | 2月8日 | コアと課題対応力向上サブプロジェクト合同会議 |
| 第4回 | 2月13日 | コアと企画経営サブプロジェクト合同会議 |

4. 合同勉強会の開催

プロジェクトの中間報告を行うと共に、双方の課題共有化を図る目的に実施した。オブザーバーとして宇治市担当課の職員も参加を頂いた。

| | 開催日 | テーマ・内容 | 出席者数 |
|-----|--------|-------------------------------|--------------------------------|
| 第1回 | 8月25日 | プロジェクト報告 抱えている課題についてのグループワーク | 社協 18名 公社 31名 府社協 1名 宇治市 3名 |
| 第2回 | 12月20日 | 地域課題の共有化 サブプロジェクトからのプレゼンテーション | 社協 22名 公社 29名 府社協 2名 宇治市 5名 |

5. 先進地視察

種別を超えた他機関の連携・共働モデルとして、滋賀県で取り組まれている「滋賀の縁 創造実践センター」の取り組みを学ぶためにプロジェクトメンバーで視察を行った。

視察内容 滋賀の縁 創造実践センターの取り組みについて

日時 平成28年7月11日(月)

場所 滋賀県長寿社会福祉センター

参加者 宇治市地域福祉課担当者 社協担当者2名 公社担当者2名

6. 合同プロジェクト報告会の開催

1年間に亘るプロジェクトの取り組みを、双方の役職員、行政に対して報告するために、報告会を開催した。

日時 平成29年3月29日(水)

場所 宇治市生涯学習センター第1ホール

参加者 両社役職員、行政等120名

内容 1) 報告 1年間のまとめと今後について

2) 基調講演 「滋賀の縁創造実践センター取組みについて」

講師 滋賀県社会福祉協議事業部門 地域福祉担当

滋賀の縁創造実践センター事務局 課長 高橋 宏和 氏

3) 報告・パネルディスカッション 各サブプロジェクトチームの報告と今後に向けて

課題対応力向上サブプロジェクトチーム員

企画経営サブプロジェクトチーム員

コーディネーター 大谷大学 志藤 修史 先生

4) 閉会あいさつ



【1年間の取り組みを双方の役職員に報告】



【報告会を無事終えたプロジェクトメンバーの笑顔】

